

令和元年度

海洋教育年間指導計画



岐阜市立長良小学校

長良小学校 第1学年 海洋教育年間指導計画

単元名:天神川にはどんな生き物がいるのかな

ねらい:長良の町の自然や生き物を見つける学習を通して,天神川にはたくさんの生き物がいることを知り,川に住む生き物についての理解を深めることができる。

活動計画【全10時間】

月	ねらい	学習内容	指導・援助
5月 【1】	長良の町の自然や生き物について知っていることを交流する活動を通して,今後の学習に対する意欲を高めることができる。	○長良の町の自然や生き物について知っていることを交流する。 ・金華山に上ったり,長良川に入ったりしたことがあるよ。 ・僕の家付近には天神川があるよ。 ・遠足でいった戸石川には小さい魚や海老がいたよ。 ○今後の見通しをもつ。 ・他の川にはどんな生き物がいるのかな。 ・天神川に行って調べてみたいよ。	・日常生活や遠足などの経験を想起することができるようにする。 ・天神川にはどんな生き物がいそうか交流し,次時の意欲へつなげる。
6月 【3】	天神川へ行き,どんな生き物がいるのか見つける活動を通して,生き物についての理解を深めることができる。	○どんな生き物がいるのか予想を交流する。 ・いろいろな種類の魚がいると思います。 ・海老がいると思います。 ○天神川で生き物を見つける。 ・小さい魚がいっぱいいるよ。 ・戸石川にいた海老がでてきたよ。 ・もっともっといろいろな生き物を捕まえたいよ。	・安全指導を十分に行い,安全に学習を行うことができるようにする。 ・見つけたことや気づいたことを交流し,次時の意欲につなげる。
7月 【3】	天神川で見つけたことを,「見つけたよカード」に書いて交流する活動を通して,生き物についての理解を深めることができる。	○どんな生き物を見つけないか交流する。 ・ザリガニをつかまえます。 ○天神川で生き物を見つける。 ・あしが生えたおたまじゃくしや,かえるがいたよ。 ・草を揺らしたらザリガニがでてきたよ。 ・大きな魚がすばやく通りすぎていったよ。 ○「見つけたよカード」を書いて交流する。 ・「おおきなザリガニをみつけたよ。」	・「場所」という視点で生き物を見つけようとしている児童を見つけ,価値づける。 ・見つけたよカードには見つけたことを絵や文で書く。
9月 【3】	どの生き物がどんな場所にいるのか見つけ,「見つけたよカード」にまとめ交流する活動を通して,生き物についての理解を深めることができる。	○どの生き物がどんな場所にいたかを交流する。 ・ザリガニは草の奥にいました。 ・魚は素早く川の真ん中を泳いでいたよ。 ○天神川で生き物を見つける。 ・ブロックとブロックの間に魚がたくさんいたからつついてみたよ。 ・石を裏返したらタニシがいたよ。 ○「見つけたよカード」を書いて交流する。 ・「○○(生き物)が○○(場所)にいたよ。」	・前時価値づけた子を紹介し,本時の見通しをもつことができるようにする。 ・2学年の「天神川の違う場所にはどんな生き物がいるのかな」という課題につなげるができるようにする。

長良小学校 第2学年 海洋教育年間指導計画

単元名:天神川にはどんな生き物がいるのかな

ねらい:萩の滝, 松尾池の周辺の小川に行き, 生き物を探したり, 周りの自然を見付けたりして, 天神川とは様子や生息する生き物が違うことを実感することができる。

活動計画【全10時間】

月	ねらい	学習内容	指導・援助
4	天神川の様子や生き物について1年生で学んだことを交流し, 山の近くの萩の滝, 松尾池の周辺の小川にはどんな生き物がいるのか, 興味をもつことができる。【1】	○1年生で生き物探しをした天神川の様子やどんな生きものがいたかを交流する。 ・小さい魚やタニシがいたよ。エビもかくれていたよ。 ・ザリガニが草の下にたくさんいたよ。 ・水は膝くらいまであったよ。 ○萩の滝, 松尾池の写真を見て, どんな生き物がいるか想像する。 ・山の中にあるんだね。 ・水がきれいだから魚がいっぱいそうだよ。 ・石もいっぱいでもきれいだから違う生き物もいるかもしれないな。	・1年生で学んだことや今までの経験から天神川がどんな様子かを考え, 挙げる。 ・松尾池周辺の写真を提示し, 山の麓にあることや, 流れる水の様子が違うことに気付くようにする。
	実際に萩の滝, 松尾池の周辺の小川に行き, 天神川の様子や生き物の違いに気付くことができる。【3】	○萩の滝, 松尾池の周辺の小川に行き, 生き物を捕まえたり, 周りの自然を見付けたりする。 ・水がすごくきれいで下の石がよく見えるよ。 ・水がとても冷たいよ。 ・天神川にはいなかったカニがいるよ。 ・小さな魚やカエルもいるよ。天神川と同じ生き物もいるね。	・「天神川と違う生き物はいかなかな。」と投げかけ, 天神川にはいなかった沢ガニが生息していることに気付くことができるようにする。
	生き物を捕まえたり, 自然を見たりして分かったことや楽しかったことを絵日記に表すことができる。【1】	○振り返りを絵日記に書く。 ・長良小学校からいっぱい歩いてすごく遠くて疲れたよ。 ・水がすごく冷たくてきれいだったよ。 ・小さなカニがたくさんいてびっくりしたよ。 ・カニは石の下に隠れていたから, 石をひっくり返してすぐに捕まえたよ。	・一番楽しかったことや思い出に残っていることを書くようにする。 ・山の麓では, 天神川とは川の様子が違い, 生息する生き物も違うことを確認する。

小単元:天神川の水をたどるとどんな生き物がいるのかな

ねらい:天神川の水をたどっていくと山の麓にある岡口に着き, 松尾池周辺のようなきれいな水が流れており, 天神川の下流とは生息する生き物が違うことを実感することができる。

月	ねらい	学習内容	指導・援助
9	天神川をたどっていった先の様子や生き物について興味をもつことができる。【1】	○天神川の下流の様子と松尾池の周辺の様子を想起し, 天神川の上流の様子を想像する。 ・天神川の先は松尾池の近くみたいなきれいな川があるかもしれないよ。 ・きっと魚は住んでいると思うよ。 ・松尾池の近くみたいだったら, カニもいるかもしれないね。	・天神川の上流をたどり, 生き物を探したいと意欲をもてるようにする。
	実際に天神川の上流をたどって岡口に行き, 天神川下流との様子の違いや生き物の違いを感じるができる。【3】	○天神川をたどって岡口に行き, 生き物を捕まえたり, 周りの自然を見付けたりする。 ・天神川をたどっていくと, 大きな山に近づいてきたよ。 ・山の中から水が流れてきているよ。 ・松尾池みたいにきれいな水と石がいっぱいあるね。 ・同じ天神川でも, 岡口には, 学校の近くにはいなかったカニがいるよ。	・学校の近くの天神川と様子や生き物の違いについて問いかけ, 上流と下流の違いに気付くようにする。 ・水はどこから流れてきているかを問い, 水は山から流れてくることに気付くようにする。
	生き物を捕まえ, 周りの自然を見る活動を通して, 天神川は山とつながり, 生息する生き物も違うことを理解することができる。【1】	○振り返りを絵日記に書く。 ・天神川の水をたどっていったら, 山の中に着いたよ。 ・水がすごく冷たくてきれいだったよ。 ・天神川なのに松尾池と同じで小さなカニがいてびっくりしたよ。 ・川をたどっていくと山に着いて, 山から水が流れてきていたんだね。 ・山の近くは水がとてもきれいだからカニも住んでいるね。	・絵と文で, 一番楽しかったことや思い出に残っていることを大切に書いて書くように指導する。 ・「天神川の水がどこから来ていた」と投げかけ, 水は山から流れてきていることを確かめる。

単元名：長良川の水はどこから来るの？

ねらい：金華山や百々峰の水はどこにつながっているかを考えることを通して、山から出てくる水は、長良川につながっていることを理解し、森と川につながりについて興味をもつことができる。

活動計画【全15時間】

月	ねらい	学習内容	指導・援助
4	長良川の水はどこから来ているかを交流し、1年間の海洋教育での学習に、見通しをもつことができる。 【1】	○川の水はどこから来ていると思うか、交流する。 ・2年生の学習でやったよ。 ・山から出てくる水がつながっていると思う。 ○長良川の水はどこから来ていると思うか、交流する。 ・近くにあるから金華山かな。 ○山と川が本当につながっているのを確かめることが、海洋教育で学習する内容であることがわかる。 ・本当に山と川はつながっているのかな。 ・実際に見学してみたい。	・2年生の天神川と岡口のつながりを想起できるようにする。 ・長良川の写真を準備する。 【評価の観点】課題設定する力
	金華山登山の際に着目すればよいポイントの見通しをもつことができる。 【1】	○長良川と金華山の写真を提示する。 ・とてもきれいな川だな。 ・金華山のぼったことがあるよ。 ・本当に金華山が長良川につながっているのかな。 ○遠足で見るポイントを確認する。 ・水が流れているところを探そう。 ・山の地面が濡れていたよ。	・長良川と金華山の写真を提示する。 【評価の観点】課題設定する力
	瞑想の小径や七曲がり歩いて、水の出所を探ることができる。 (こどうの遠足の際に)	○登⇒瞑想の小径 下⇒七曲がり ・地面がぬれているよ。 ・下の方に水が流れているところがあるよ。 ・山と川はつながっていないのかもしれない。	・子どもが多くの視点をもてるように、視点を与えたり、見つけた物に視点を加えたりする。 【評価の観点】追究する力
	金華山の水について見つけたことをたしかめる。 【1】	○金華山の水について見つけたことを交流する。 ・思っていたよりも水が見つけれなかった。 ・山と川はつながっているのかもしれないと思っていたけれど、違うかもしれない。 ・けれど、やっぱり川は山とつながっていると思う。	・子どもが見つけたことを、視点ごとに整理し、これからの追究の視点をもてるようにする。 【評価の観点】表現する力
7	御手洗池の滝がどのようなものかを知り、見学の見通しをもつことができる。 【1】	○御手洗池の写真を提示する。 ・こんな滝があったなんて知らなかった。 ・滝の水はどこから来ているのかな。 ・滝から流れた水はどこに流れているのかな。	・御手洗池の滝の写真を提示する。 【評価の観点】課題設定する力
	御手洗池の滝がどこから出てきていて、どこに流れているかを見つけることができる。 【3】	○御手洗池がどこから出ているか、どこに流れているかを見学する。 ・滝の先は金華山から出ているよ。 ・滝が流れた先には小さな川があるよ。 ・小さな川が長良川につながっていたよ。	・滝の出る先や、出た後がどうなっているのかを注目できるようにする。 【評価の観点】追究する力
	御手洗池の滝を見学して、見つけたことをたしかめる。 【1】	○御手洗池の滝を見学して、見つけたことを交流する。 ・金華山から水が流れてきていたよ。 ・金華山から出てきた水は長良川につながっていたよ。 ・山の中はどうやって水が流れているのかな。	・金華山からどうやって水が出てきているのかを考えられるようにして、次の活動につなげる。 【評価の観点】表現する力

月	ねらい	学習内容	指導・援助
9	萩の滝、松尾池がどのようなものかを知り、見学の見通しをもつことができる。 【1】	○萩の滝、松尾池の写真を提示する。 ・こんな大きな滝も近くにあるのだ。 ・この滝の水も川につながっているのかな。 ・滝の水は山の中をどうやって通っているのかな。	・萩の滝、松尾池の写真を提示する。 【評価の観点】課題設定する力
	山にそって流れる水は滝から流れていて、それが池となり、川につながっていることを見つけることができる。 【3】	○山の中を通る萩の滝から流れ出た水を見学する。 ・登る道の近くに、水がずっと流れているね。 ・この水は滝から流れてきたのだ。 ・山の中にはこうやって水が流れているのだな。	・今まではなかなか見られなかった水が山の中を流れていることを見つめる姿を価値付ける。 【評価の観点】追究する力
	萩の滝、松尾池を見学して、見つけたことをたしかめる。 【1】	○萩の滝、松尾池を見学して見つけたことを交流する。 ・今まで見えなかった山の中をどうやって水が流れているかがよく分かった。 ・山から出てくる水がやっぱり川にながっていた。 ・長良川の水は金華山や百々峰から来ているのだ。	・長良川の水が山とつながっていることをまとめる。 【評価の観点】表現する力
1	長良川の水がどこから来ているかを新聞にまとめることができる。 【1】	○見学して学んだことをもとにして、長良川の水はどこから来ているかをまとめる。	・今までに見学してきた写真を提示する。 【評価の観点】表現する力
	自分が書いた新聞を使って、長良川の水はどこから来ているかを伝えることができる。 【1】	○自分の作った新聞を使って、仲間に長良川の水はどこから来ているかを伝える。 ○長良川の水はどこにつながっているのかと次年度の学習へつなげる。	【評価の観点】表現する力 共生する力

長良小学校 第4学年 海洋教育年間指導計画

単元名：海と長良の自然

ねらい：長良川河岸での水の流れ方や周辺環境調査を通して、川の水はどのような水質でどこへ向かって流れていくのかについて関心をもつことができる。また、岐阜県に流れる三川の交わり方を知り、川の水は海へつながっているのだということを体感的に学ぶ。

活動計画【全20時間】

月	ねらい	学習内容	指導・援助
4月 【2】	長良川の水はどこへ流れていくのかについて考えを交流し、地図帳などをを使いながら川の水は海へ流れ出ていくのを知ることができる。	<p>○長良川の水はどこへ流れていくのか考えを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生までの学習で、長良川の水は金華山などから流れてきていることが分かっているよ。 ・海へ流れ出ていくのではないかな。 ・どこの海へ出ていくのだろうか。 <p>○地図帳で岐阜県を流れる川が繋がる海を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県には長良川、木曾川、揖斐川という大きな川が流れている。 ・三重県の海へつながっているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような生活経験からそう言えるのかという各自の理由まで聞き切り、考えを交流できるようにする。 ・地図帳を用いて川をたどる際、どのように見るとよいのかについて指導をした上で調べられるようにする。
5月 【2】	長良川を現地調査する活動を通して、地図帳で調べたこととつながりに気づき、海へ流れ込む水について調べる意欲をもつことができる。	<p>○長良川の河岸を見学する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長良川の水は東から西へ流れている。 ・地図帳で見た様子と同じだ。 ・場所によって流れる方位は変わるけれど、やはり山から海に向かって流れている。 <p>○長良川の周辺の様子を観察する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水は透明できれいだが、川岸にはごみがたくさん落ちている。 ・海に流れていくのは山から出てくる水だけではないのではないだろうか。 ・いろいろな水が途中で混ざっていくのかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・方位磁針を用い、川の水がどちらからどちらへ流れているのかを調べることで、前回の学習と比較する。 ・地図帳をもって河岸の見学へ行く。 ・川岸に捨てられているゴミや水質に目を向けられるような声掛けをし、関心がもてるようにする。
6月 【2】	川から海への流入の過程を知ることで、環境面からも川と海の繋がりについて考えをもつことができる。	<p>○川の水が海へ流れ出るまでの過程について調べ学習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川の水が海へ流れ出るまでには、ゴミがあったり、生活で使った水が混ざったりするんだ。 ・全て海へ流れると思うと、私たちの生活でも気を付けなければいけないことがあるのかな。 <p>【参考資料出典一例】 「政府広報オンライン 飲み水はどこから？使った水はどこへ？」 https://www.gov-online.go.jp/ArsAt/article/291507/1.html</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・書籍やタブレット、PCを使って調べ学習を進めるように準備をする。

		<p>「笹川平和財団 海と川 川と海のあるべき姿とは？」</p> <p>https://www.spf.org/lopri/newsletter/23_1.html</p>	
7月 【6】	<p>川が海へ流れ出る場所を見学し、実体験をもって川と海がつながっているのだと いうことを知ることができる。</p>	<p>○自分たちが住む地域を流れる長良川がどのように海とつながっているのかを見学する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「国営木曾三川公園」では、三つの川が合流する場所が実際に見られるんだ。 ・三つの川が合流して一つの大きな川のようになっていく。 ・あそこから海なんだ。 <p>【国営木曾三川公園】 岐阜県海津市海津町油島 255-3 0584-54-5531 http://kisosansenkoen.jp/</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・見学時における視点の視点を明確にもてるようにする。
9月 【3】	<p>これまでの学習のまとめを行い、私たちの地域を流れる長良川と海はつながっていることを仲間と伝え合い理解を確かに行うことができる。</p>	<p>○これまでの学習で学んだことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・模造紙にまとめよう。 ・学年の仲間同士、なにをまとめたのか発表し合いたい。 ・他の人に発表したり、掲示をしたりしたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が学習を通して理解したことや感じたことを価値付け、まとめに生かすことができるようにする。

長良小学校 第5学年 海洋教育年間指導計画

単元名:海とわたしの生活

ねらい: 漁業の学習から、漁業の現状から様々な課題があることや、自分たちの生活や川や山などは海と繋がっていることを知ることで、海を守っていくために、自分たちができることはないかという考えをもつことができる。

活動計画【全20時間】

月	ねらい	学習内容	指導・援助
5・6月 【3】	伊勢湾で行われている漁業の現状を知り、伊勢湾の漁業について知ろうとすることができる。	○漁業について、知っていることを交流する。① ○伊勢湾の漁業の実態を調べる。① ・主に、ノリやアサリ等の貝類の漁業が盛んだ。 ・環境の悪化によって、禁漁場所を作っている。 ・海底堆積物や漂流漂着物の除去も年に数回行っている。 ・数が減少しているため、とってはいけない魚もいるらしい。 ○ノリやアサリが育つために必要なことを調べる。①	・伊勢湾の魚用の現状を知り、漁業について興味をもつようにする。 【評価の観点】 探究する力 ※5年生社会科との関連 ※2年生海洋教育と関連
7月 【1】	これまで調べてきたことから、海のためにできないかを考えることができる。	○自分たちにできそうなことを考える。 ・4年生で生活排水について学習したぞ。長良川にもゴミがたくさんあった。ゴミについて考えてみたいな。 ・長良川の水質はきれいだったな。でも、これからもこの水質を守ることが大切なんじゃないかな。 ・3年生の時、川の水は海から流れてきていることを勉強したな。山の環境も関係しているんじゃないかな。 ・山や川と海のつながりについて考えていこう。	・海のためにできないかを考え、今後の見通しをもつようにする。 【評価の観点】 課題設定する力 ※4年生社会科、こどうとの関連 ※3年生海洋教育との関連
9・10月 【5】	自分たちが出したゴミや生活排水が環境の悪化につながっていることを知り、ゴミ問題に対して、自分ができることははっきりさせることができる。	○ゴミや生活排水の現状を調べる。② ・ゴミはきちんと管理されている。しかし、ゴミがたくさんあるから、山などを切り開いて埋め立て場所が作られているんだ。 ・生活排水もきれいに流されているんだね。 ○ゴミや生活排水によって、水生生物に与える影響について調べる。② ・やっぱり水質が悪くなるんだ。 ・ゴミを餌と間違えて食べてしまう魚もいるらしいよ。 ・年々、魚が減ってきている。だから、魚を増やす取り組みを始まっているな。 ○ゴミを減らすために、自分たちにできそうなことを考える。①	・ゴミ問題について知り、自分たちができることを考えるようにする。 【評価の観点】 探究する力 ※4年生社会科、海洋教育、こどうとの関連
11・12月 【7】	山と海はつながっていることを知り、山や川を守る思いをもつことができる。	○岩手県で、「森は海の恋人運動」をしている畠山重篤さんについて知る。② ・海を豊かにするために、海と繋がっている山に木を植える活動をしている人がいるんだ。 ○金華山の様子を調べる。④ ・金華山には、たくさんのお木が残っている。しかし、ゴミが落ちていることも分かったよ。 ・金華山の自然を守ることが、長良川がきれいになり、海を守ることにつながるんじゃないかな。 ○海と山のつながりについて考える。① ・長良川だけ守ればいいと思っていた。でも、身の回りには自然は全て海につながっているんだ。この自然を守っていくことが、海を守ることにつながるね。	・山と川、海はつながっていることを知り、自分たちの身の回りの自然を守っていくことが、海を守ることにつながると考えるようにする。 【評価の観点】 探究する力 ※4年生理科、海洋教育、こどうとの関連 ※3年生こどう、海洋教育との関連

<p>1・2月 【3】</p>	<p>海を守るために自分たちにできることは何かを考え、新聞にまとめることができる。</p>	<p>○自分たちがこれまで調べてきたことを基に、新聞にまとめる。</p> <p>○新聞にまとめたことを、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海を守るためには、環境を守ることが大切なんだ。 ・これからも、長良にある自然を大切にしていこう。そうすることが、海をきれいにすることにつながるよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞にまとめることで、自分たちが分かったこと考えたことを整理するようになる。 <p>【評価の観点】 表現する力</p>
<p>3月 【1】</p>	<p>環境問題について考える。</p>	<p>○環境問題について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境問題は、自動車の学習でもやったけれど、多くの人々が考えていることだったよ。世界では地球温暖化やマイクロチップの問題など様々なことがあるらしい。 ・もっと環境問題について考え、みんなの海を守れるようにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境問題について考え、来年度の方向をもつことができる。 <p>【評価の観点】 表現する力</p>

長良小学校 第6学年 海洋教育年間指導計画

単元名:海とわたしの未来

ねらい:長良の自然や自分たちの暮らしと海とのつながりを調べる学習を通して、自然破壊やゴミの行方等の環境問題について理解を深め、自分たちの未来について考えることができる。

活動計画【全20時間】

月	ねらい	学習内容	指導・援助
4月 【1】	海洋汚染について知る活動を通して、今後の学習に対する意欲を高めることができる。	○海洋汚染について知っていることを交流する。 ・海にはプラスチックのゴミがたくさん流れて、生き物たちが困っているということをニュースで見たよ。 ・日本だけでなく、世界の海でも汚染が広がっていると聞いたことがあるよ。 ○海洋汚染の実態について資料を基に考えを深める。 ・世界では年間800万トンの海洋ゴミが流れ着くなんて驚いたよ。 ・他にもどんな環境問題があるのか調べてみたいな。	・前年度までの学習を振り返る。 ・子どもたちの実態を把握し、海洋汚染について理解を図る。 ・海洋ゴミの様子や資料等を活用し提示する。
5月 【1】	海洋汚染について調べる活動を通して、自分の学習課題を決め、計画を立てることができる。	○海洋汚染について調べ学習を進める。 ・私は、どのくらいのゴミが海に流れ着くのかを調べてみたいな。 ・ぼくは、流れつくごみの種類について詳しく調べてみるよ。 ・私は、海の近くでくらす人たちの生活について、昔との変化を比べてみたいな。 ○自分の学習課題を決める。	・インターネットや本等を活用して、海洋汚染についての知識を深めるようにする。 ・事実から自分の考えを深め、体験学習へつなげる。
6月 【6】	学習課題に合わせて、見たり聞いたりする活動を通して、海洋についての学びを深めることができる。	○浜辺の様子を見たり、海の近くでくらす人の話を聞いたりする。 ・海にはこんなにもたくさんの漂流物があるんだね。 ・これらのごみはどこから流れ着いたものなのだろう。 ・今と昔では、海の様子は大きく変わったということ、話を聞いて初めて知ったよ。 ・もっといろいろなことを詳しく知りたいな。自分たちにできることは何か考えてみよう。	・実際に漂流物を調べ、地域の人にインタビューをするなどして、海について体験的に学習できるようにする。 ・安全指導を徹底する。
7月 【2】	調べたことを整理し、自分なりにまとめ、仲間と交流する活動を通して、海洋汚染についての学びを深めることができる。	○体験学習で学んだことをまとめる。 ・海に流れ着いた漂流物についてまとめるよ。ゴミの種類ごとに分けて考えてみると、分かることがありそうだな。 ・海の近くでくらす人の話を聞いたら、海の生き物について興味をもったよ。インターネット等で調べてみたいな。 ○交流会で、自分の調べたことを発表し考えを深める。 ・自分たちが思っていたより、海が汚れてしまっていることがよくわかったよ。	・学んだことを新聞にまとめる。 ・自分の学習課題に合わせた内容でまとめるようにする。 ・様々な視点で海洋汚染について考えを深められるようにする。
9月 【1】	今までの学習や海洋汚染について振り返る学習を通して、視野を世界に広げたり、未来に広げたりして、自分の考えをもつことができる。	○海洋汚染の実態について振り返る。 ・体験学習に行ったとき、あんなにもたくさんの海洋ゴミがあるとは知らなくて驚いたよ。 ・海の近くでくらす人々は、本当に困っていたね。 ○自分たちの未来や世界について考える。 ・自分たちが見た海以外の場所でも、同じような問題は起きているのかな。 ・世界に目を向けた時、いったいどのくらいの海洋汚染が広がっているのかな。 ・汚染が続くと、自分たちの未来はどうなるのかな。 ○自分の学習課題と学習計画を立てる。	・前期に学んだことを振り返り、さらに視野を広げて、海洋汚染について考えるようにする。 ・世界規模で考えたり、未来の海洋について疑問をもったりして、さらに広い視点で考えられるようにする。
10月 11月 【4】	自分の学習課題に合わせて調べる学習を通して、世界的な海洋汚染の問題や未来への影響について知ることができる。	○学習計画に沿って調べ学習を進める。 ・世界の海ではどんな海洋汚染の実態があるのかを調べて、共通することはどんなことを考えてまとめてみよう。 ・海洋ゴミがどのように流れ着くのかを詳しく調べて、自分たちの生活とのつながりも考えながらまとめるよ。 ○自分の調べたことをまとめる。	・インターネットや本を使って調べ学習を進める。 ・自分たちの生活とつなげて考えられるようにする。 ・必要な資料等はあらかじめ用意する。

12月 【1】	自分の調べたことを仲間と交流する活動を通して、様々な視点から海洋汚染について考え、学びを深めることができる。	<p>○仲間と意見を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋汚染は世界中に広がっていて、特に海洋ゴミは生き物にとって、重大な問題であることが分かったよ。 ・海は川や森とつながっているから、川や森の汚れが海に影響していることが分かったよ。 ・金華山や長良川を私たちが誇りに思っているように、海を誇りに思っている人たちの気持ちを大切にしないといけないね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・海洋汚染の問題を自分たちの地域の自然環境やくらしとつなげて考えられるようにする。 ・自分たちはどうすべきかを考え、次時につなげる。
1月 【2】	仲間の考えと自分の考えを照らし合わせながら、海の未来を守るために自分たちにできることを具体的に考えることができる。	<p>○自分たちの未来について仲間と考えを深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなの発表を聞いて、海と川や森がつながっていることがよく分かったよ。 ・きれいな海を守ることは、川や森を大切にすることが必要だから、身近にある自然を今以上に大切にしないといけないね。 ・いつも当たり前に見ている長良川も、海につながるということをみんなに知ってもらいたいね。 ・ゴミのポイ捨ては絶対にやめよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間の発表や自分の調べたことをもとにして、小グループで議論しながら結論を導き出す。 ・具体的な行動内容や根拠を明らかにした改善策等を価値づける。
2月 【1】	今までの学習を振り返り、海洋汚染の問題を自分事としてとらえ、今後の生活に生かそうとすることができる。	<p>○自分の考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県は海のない県だけど、自分たちの生活が海の問題につながっていることを知ったよ。前よりも海が身近なものになったよ。 <p>○仲間と意見を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川や森を大切にすることが、海を大切にすることだということが分かったよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの自分の学びを振り返り、今後どのように生活に生かしていくのかをプリントに記入する。